



## 地域経済動向調査報告

令和元年度 第2四半期（7～9月）

〔総論〕

**「江津市の経済は、ほぼ横ばいの状態である。」**

	国	県
7月	景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している	生産活動は回復に向けたテンポが緩やかになっているが、個人消費は緩やかに持ち直しの動きが続いており、雇用情勢は一部に充足感がうかがわれるものの改善が続いている。
8月	景気は、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している。	
9月	景気は、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している。	
参照	<a href="#">内閣府「月例経済報告」</a>	<a href="#">松江財務事務所「島根県の経済情勢」</a>

〔調査要領〕

- (1) 調査時点 2020年12月1日時点
- (2) 調査方法 郵送により実施
- (3) 調査対象 当所会員名簿から業種のバランスを考慮し抽出

	配布数	回答数	回答率	回答構成率
全業種	95	64	67%	100%
製造	20	15	75%	23%
建設	21	17	81%	27%
運送	7	5	71%	8%
卸・小売	28	18	64%	28%
サービス	19	9	47%	14%

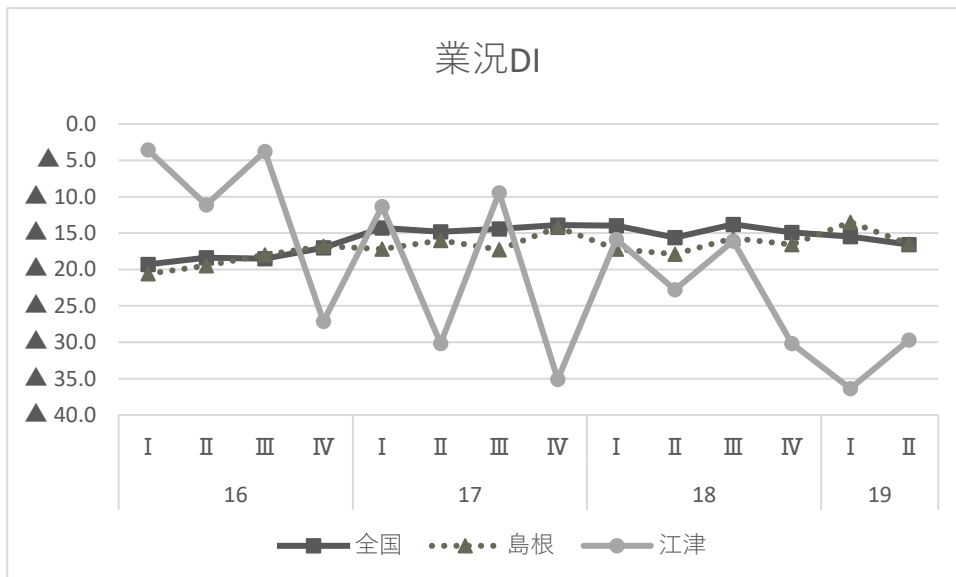
## 1. 業況

### (1) 業種別の業況DI (各期間比較)

	前年同期と比べた 今期の状況	前期と比べた 今期の状況	前年同期と比べた 来期の見通し
全産業	▲ 24	▲ 30	▲ 20
製造業	▲ 33	▲ 53	▲ 27
建設業	▲ 24	▲ 29	▲ 18
運送業	0	0	▲ 20
卸小売業	▲ 17	▲ 22	▲ 28
飲食・サービス業	▲ 33	▲ 22	0

### (2) 業況DIの推移 (前期比)

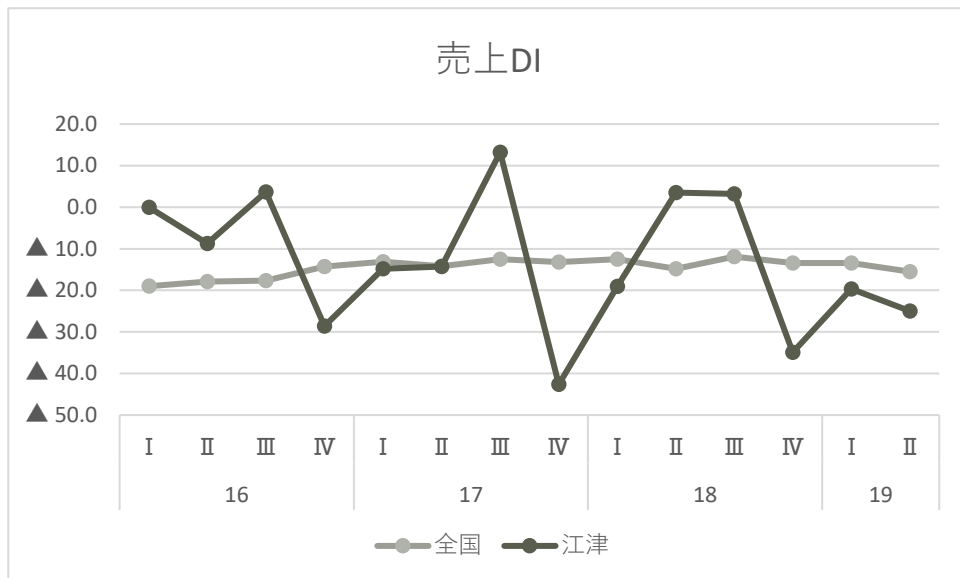
2019年7月から9月の業況DIは前回調査▲35.7⇒今回調査▲29.7となり、マイナス幅が縮小した。業種別にみても製造業が最も悪化しており、前回調査▲25.0から今回調査▲53.3となった。卸・小売業、飲食・サービス業ではマイナス幅が縮小している。



## 2. 売上高

### (1) 売上高DIの推移（前期比）

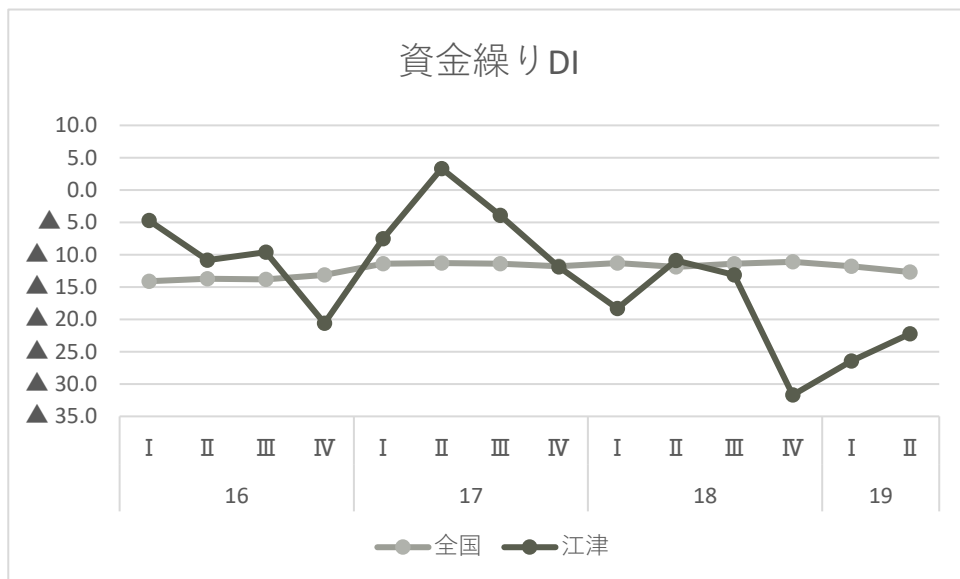
2019年7月から9月の売上高は前回調査▲17.5から今回調査▲25.0とマイナス幅が大きくなった。なかでも製造業は前回調査では0.0だったが今回▲53.3と大きくマイナスとなり、運送業も前回調査50.0から今回調査▲60.0と大きく売上高減少を示している。一方で、飲食・サービス業は前回調査▲36.4から今回調査0.0と回復基調。



## 3. 資金繰り

### (1) 資金繰りDIの推移（前期比）

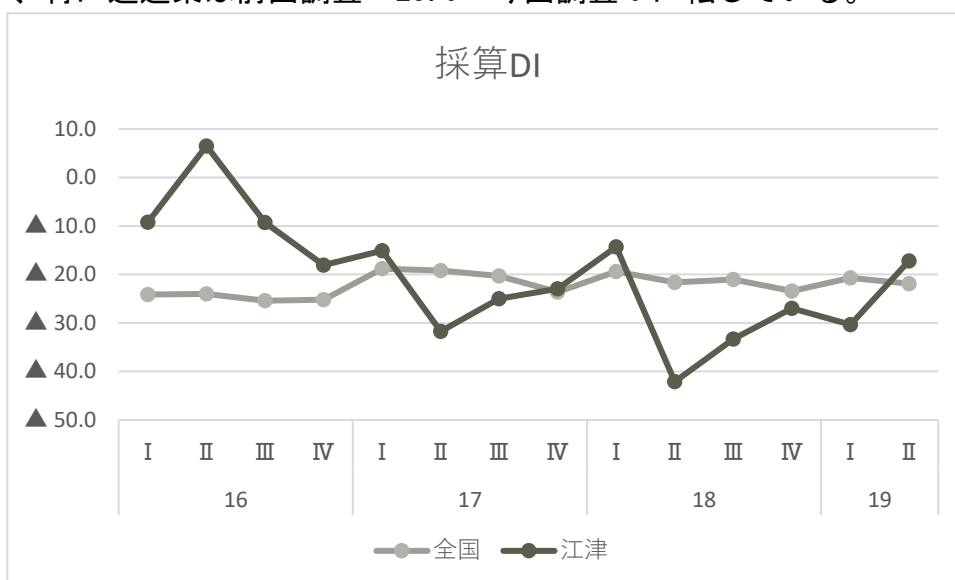
2019年7月から9月の資金繰り状況は前回調査▲25.9⇒今回調査▲22.2とほぼ横ばい。特に製造業は前回調査0.0⇒今回調査▲28.6と資金繰り悪化を示している。



#### 4. 採算（経常利益）

##### （1）採算（経常利益）DIの推移（前年同期比）

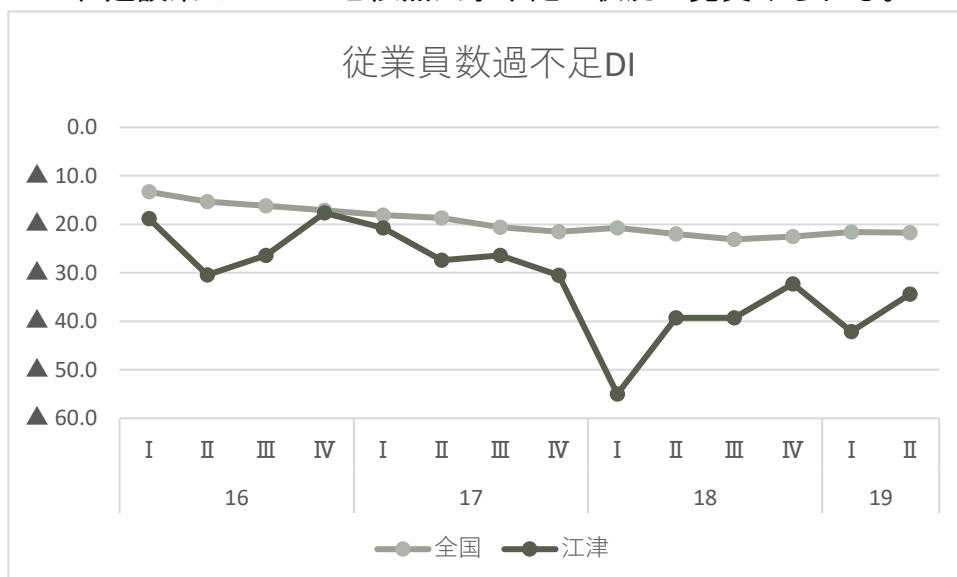
2019年7月から9月の採算は前回調査▲29.8から今回調査▲17.2とマイナス幅が縮小した。製造業・建設業は悪化しているが、その他の業種は回復基調にあり、特に運送業は前回調査▲25.0⇒今回調査0に転じている。



#### 5. 従業員数過不足

##### （1）従業員数過不足DIの推移（今期水準）

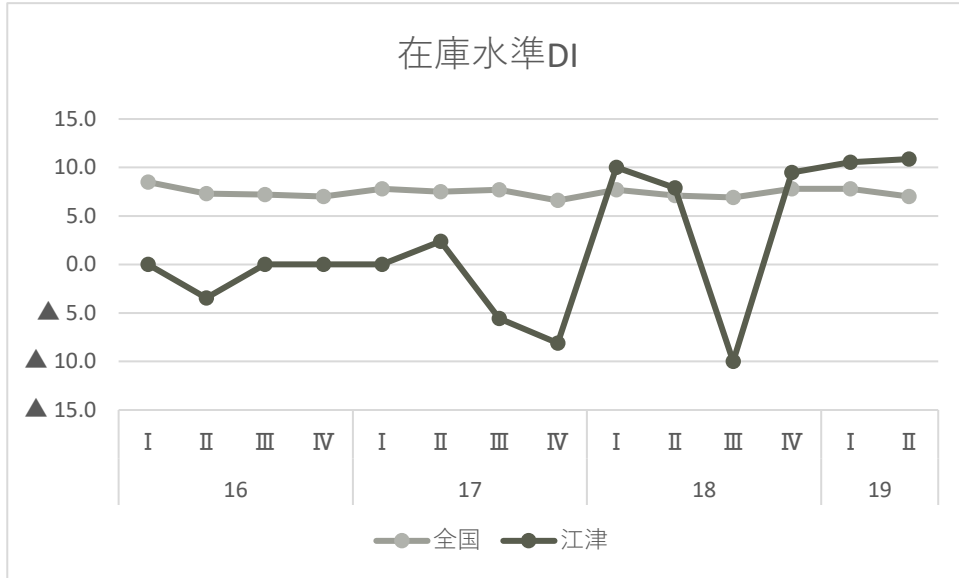
2019年7月から9月の従業員数過不足は前回調査▲43.1⇒今回調査▲34.4と、マイナス幅が緩やかになった。とはいえ運送業で▲60.0、飲食・サービス業で▲44.4、建設業で▲41.2と依然人手不足の状況が見受けられる。



## 6. 在庫水準

### (1) 在庫水準DIの推移（今期水準）

2019年7月から9月の在庫は、前回調査10.3から今回調査10.9と横ばいの状況。



## 7. 経営上の問題点

01 競争の激化	02 仕入・材料価格の上昇	03 人件費の増加
04 材料費・人件費以外の経費の増加	05 従業員の確保難	06 需要の停滞
07 事業資金の借入難	08 金利負担の増加	09 設備や店舗の不足・老朽化
10 取引条件・代金回収悪化	11 製品・利用者ニーズ変化への対応	12 その他

上記より上位3つを選択方式にて回答。

業種	順位	課題	%	前々回→前回順位
製造業	1位	仕入・材料価格の上昇	28.6%	1位 → 4位
	2位	需要の停滞	20.0%	3位 → 1位
	3位	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員の確保難</li> <li>● 設備や店舗の不足・老朽化</li> </ul>	14.3%	3位 → 5位 3位 → 1位
建設業	1位	従業員の確保難	30.4%	2位 → 2位
	2位	人件費の増加	15.2%	1位 → 3位
	3位	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仕入・材料価格の上昇</li> <li>● 材料費・人件費以外の経費の増加</li> </ul>	13.0%	4位 → 4位 4位 → 1位
運送業	1位	設備や店舗の不足・老朽化	46.7%	3位 → 1位
	2位	従業員の確保難	26.7%	1位 → 1位
	3位	競争の激化	13.3%	得票なし→得票なし
卸・小売業	1位	需要の停滞	21.2%	2位 → 1位
	2位	仕入・材料価格の上昇	13.5%	6位 → 2位
	3位	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人件費の増加</li> <li>● 従業員の確保難</li> </ul>	11.5%	7位 → 9位 8位 → 6位
飲食・サービス業	1位	設備や店舗の不足・老朽化	27.3%	5位 → 2位
	2位	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員の確保難</li> <li>● 仕入・材料価格の上昇</li> </ul>	13.6%	2位 → 7位 5位 → 1位